

国際ロータリー会誌 グレン・E・エステス

ロータリーを祝おう 100年の歩み
CELEBRATE ROTARY

IBARAKI ROTARY

Club Weekly Bulletin

RI第2660地区 茨木ロータリークラブ 創立 昭和34年(1959年)12月23日



事務所 大塚町茨木市土中委一丁目9-20 茨木商工会議所 TEL (072) 622-2255 F 567-0881
 例 会 毎水曜日12時30分 ホテル日航茨木大塚 茨木市中懸橋一丁目1-10 TEL (072) 620-2121
 会 員/長澤利治 幹 事/久保義誓 会報委員長/河原崎 啓
 会 員/中西、松尾、武西



姉妹クラブ:台北西北区扶輪社
 友好クラブ:インドネシア・チネレC

No.14 平成16年10月27日

本 日 の 卓 話
 10月27日(水)
 「クラブ協議会」
 RI第2660地区IM第2組
 中西和也ガバナー補佐

我クラブも掛谷委員長を中心に努力して頂いておりますが、全会員が一丸となって一人でも多く入会していただけますようお願いしております。
 大森PGより、当クラブに対し慶弔旗を頂戴いたしました。このりっぱな慶弔旗に負けないクラブになりたいと思います。

例会記録

第2211 回例会 10月13日(水)晴
 ロータリーソング「R-O-T-A-R-Y」斉唱
 ゲスト・スピーカーご紹介
 北川 哲様(地区米山奨学会副委員長)

9月ホームクラブ皆出席
 橋本(秀)、中西、野田、野口、朱

慶弔旗贈呈 大森慈祥PG

昨年から、皆様方のご了解を頂きまして、茨木RCの慶弔旗をご寄付させて頂きたいと、製作にとりかかっておりましたのが本日出来上がってまいりましたので贈呈させて頂きます。慶弔旗ですので、お祝い、ご不幸、又移動例会の時とかにもお使い頂きたいと思えます。

会長の時間

長澤利治会長

本日は、地区米山奨学副委員長にお越しいただきました。1953年に東京RC創立に努力された功績で、海外からの留学生に対しての奨学金制度が始まって以来今日まで続いている、国内で最大の奨学金支援団体となっています。
 奨学会の現状も含め、有益な話が聞けると思えます。よろしくお願ひします。

昨日は、BIGBOX でローターアクト主催の親睦会に私、幹事、秋山、中西の4名参加しました。ローターアクトも8月からの新入会員男女1名づつの紹介がありました。さらに、茨木東、西RCも新入会員の方が参加されておりました。

出席報告

第2211 回例会			前々回(第2209 回)		
会員数(免除)	出席	欠席	出席率	欠席	補正出席率
30(9)	16	5	76.19%	4	80.95%



幹事報告 久保義誓幹事

- 1、RI及び2660地区連絡事項
 - 1)「秋のライラ」台風22号のため中止の報告
 - 2)再・ロータリー随想『菅生浩三 著』
 - 3)ザ・ロータリアン10月号
- 2、茨木市、他RCよりの依頼事項
 - 1)台北西北RCより会報
 - 2)会議所より黒井の清水大茶会の案内 10/23・24(土日) 於：茨木神社境内

3、理事会報告（10月13日開催）

- 1) 11月度プログラムの件
11/17日例会、職業奉仕委員会見学会
(移動例会) 承認
- 2) 会計報告(9月末)
原案通り 承認
- 3) 指名委員会委員選任の件
大森慈祥会員、野田征夫会員、簡仁一会員
承認
- 4) クラブ協議会の件(質問事項)
例年通りの形式にて行う
- 5) 台北西北 RC・WCS の件
台北西北 RC よりカンボジア井戸の掘築に依り、
住民飲料水水源及び水質改善援助の WCS 活動に
付いて 承認
本年度にて30万、次年度30万(国際委員会よ
り)と会員よりの援助資金を募集する。
- 6) 職業奉仕委員会見学会の件
11/17日職業奉仕委員会にて「京都住友有芳園・
住友資料館」への見学会及び会食会を原案通り
承認
- 7) ロータリー100周年記念専門職務奉仕賞に関して
橋本秀雄会員を推薦する。
- 8) 新入会員の件
摂津水都 専務理事 吉田明氏
倉内税理士司法書士事務所所長 倉内貞敏 承認

委員会報告

米山記念奨学会寄付報告

日野岡会員、簡会員、笠原会員、河原崎会員、
長澤会員、中西会員、大森会員、朱会員、山田会員、
山口会員より頂きました

本日計 115,000円

卓話

「米山事業の現況と課題」

地区米山奨学会 北川 哲副委員長

1. 米山の現況
2. 今、米山記念奨学会では
3. 今、地区米山委員会では
 - (イ) 選考方法の改革
 - (ロ) 大学訪問に依る情報交換
 - (ハ) 学友会(奨学生 OB)のネットワークの強化とその活用

1. 米山の現況

一言で申し上げますと、米山記念奨学会は今大きな局面に立たされているということであり、お手元の寄付金と奨学金事業費の推移をご覧頂くとわかりますように、その後経済状況の悪化と会員減少に伴い下降の一途をたどり、記念奨学会の8月30日の理事会・評議員会には、当初の寄付金予定額を16億円から15

億1000万円とする修正予算書が提出される事態となりました。ちなみに先輩諸氏が積み立てて頂いておりました特別積立金は、1998年度には42億ございましたが

1999年	2.4億円
2000年	4.0億円
2001年	1.5億円
2002年	2.0億円
2003年	3.6億円
2004年	3.0億円

合計 16億5000万円

特別積立金残額25.5億となり、もう以上特別積立金を取り崩すことの出来ない状況に追い込まれ、今後、どう対応処するかということです。

2. そこで、今、米山記念奨学会では

表彰制度の改革

2003年7月より新しくなり、特別寄付金の累計額が従前の累計30万円毎から、10万円毎の表彰に変わり、広く、長くご寄付をお願いするという事になり、先般の理事・評議員会報告に依ると、その効果がみられるようになったと聞いております。

奨学生数と奨学金の減少・減額

この制度が発足して以来、米山学友(OB)の累計は、11211名となり、そのうち、日本に滞在している学友は、約3000名で国内では、22の学友会、海外では、韓国と台湾に2団体、私共2660地区では累計568名の奨学生をお世話して参ったのですが、ここ数年、1000名の奨学生を採用してきましたが、来年度からは、2割減の800名となります。

ちなみに、今年は当地区では49名の奨学生、これまでにない人数ですが、来年度は23名と、奨学生には厳しい冬の時代になります。

そして更に従来の

学部課程奨学生(YU)12万円が10万円に
修士課程奨学生(YM)15万円が14万円に
博士課程奨学生(YD)15万円が14万円に
の制度に変わりました

米山奨学制度の見直し

現在の制度は1999年の第1期米山奨学事業基礎調査の結果を基に多くのロータリアンの論議を経て確立されました。昨年8月第2期米山奨学事業基礎調査が実施され1000名の各層からのロータリアンの声と、元奨学生1900名を集めました。その結果が(よねやまだより)「みんなで考えよう、わたしたちの米山奨学事業」であります。ロータリアンにとって、更に身近な米山奨学事業にするために2006年度よりの制度改編に

反映させる為に、記念奨学会、あるいは、地区にご意見をお届け下さい。

3. 今、地区米山奨学会では

お世話願っているクラブの皆様から、よく以下の声を聞きます。

- (イ) 奨学期間が終了すると音沙汰がなくなる。
- (ロ) 勉強・レポート作成でロータリアンとのコミュニケーション（家族会、地域のお祭等）が計れない。
- (ハ) 奨学金を貰っているのに我々以上に旅行に出かける等

そこで、これらの皆様の声を踏まえて、私共地区委員が取り組まなければならない事と、お世話を願っているクラブの皆様で取り組んで頂く事柄にわけて、4つの事を考えて実行して参りました。

大学を訪問して米山の趣旨の徹底

大学の留学部門担当者を訪問し、大学の情報収集と、我々が望んでいる奨学生像についてコンセンサスを得る努力

選考方法の改編

選考については、従来は専門職（文・医・理工）の先生方が、選考委員の半数で構成されていましたが、ロータリアンが望む優秀な奨学生に焦点を合せず選考ということで、本年度は選考委員を全員ロータリアンに切り替えました。

カウンセラー研修会を昨年初めて取り組みましたが、今年は、2回計画しています。

元米山奨学生（学友会）のネットワークの強化を図る。

当地区では3ヵ年計画で、関西学友会と連携を計りながら、その追跡調査をしております。

各クラブにお願いしたい事

奨学生を奨学委員長やカウンセラー任せにせずクラブの一員として迎え入れて頂きたい。

(イ) いつも同じ人とテーブルに着席させない。

(ロ) 三分間スピーチで近況を報告させる等

(ハ) 家庭訪問の機会を作ってあげる。

「太陽が輝いているのに、ひまわりが顔を向けられないはずがない」

地区で追跡している住所録が完成すれば各クラブにお届け致しますので、皆様のクラブの週報を2~3ヶ月に一度、まとめて送り届けてみて下さい。

最後に

「うちのクラブでお世話になってよかった」と最終例会で言う奨学生にして下さい。

ニコニコ箱

ホームクラブ皆出席	橋本(秀)、中西、野田、朱
米山の卓話をさせて頂きました	北川
検査入院のためしばらく欠席致しました	橋本(陽)
「野いばら」に当社のソーラーシステムを記事にして頂いて	久保
大森様に立派な慶弔旗を頂いて	久保
大森会員慶弔旗をありがとうございます	中西
北川地区副委員長様ご来訪感謝！！	大森
北川副委員長の卓話を頂いて	山田

本日計 21,000円

累計866,420円

次回卓話

「ロータリー財団月間」

2003~04年度R財団国際親善奨学生

松上純一郎氏